

令和5年度第2回愛媛県宇摩構想区域地域医療構想調整会議
議事録

- 1 日時：令和6年3月5日（火）19：00～20：30
- 2 場所：四国中央市福祉会館4階多目的ホール
- 3 出席者：委員13名（随員4名）
県地域医療構想アドバイザー1名
オブザーバー3名（愛媛大学医学部附属病院長、県医療対策課2名）
事務局（保健所）6名
報道機関1名（四国中央CATV）

4 次第

- 1) 【公開】「定量基準分析による病床機能報告の分析結果」（Web開催）
講師 株式会社日本経営 リサーチ&インテリジェンス事業部 部長 角谷 哲
宇摩圏域の地域完結率、定量基準分析した結果と病床機能報告から見た宇摩圏域の現状課題の報告、今後取り組むべきことについて提言された。概要は以下のとおり。
全体的に地域完結率は低いが、脳神経疾患や心血管系疾患など緊急性の高い疾病については、HITO病院を中心に圏域内で対応を行い、がんなど症例によって、明確に松山や新居浜・西条圏域との広域連携を行っている。
県域外への受診が予定入院か緊急入院か確認したうえで、地域完結に向けた課題と広域連携に向けた課題に分けて考える必要がある。
急性期症例における県域外受診が多いが、回復期以降は圏域内に戻っており、円滑に広域連携が行える体制が構築されている。
今後の課題として、働き手の人口が減少していく中、病院の規模拡大や機能の分散ではなく、集約と連携による効率性の向上を考える必要がある。隣接圏域（西条・新居浜）との広域連携体制の整備や自圏域内における役割の集中や連携を考える必要がある。また、回復期や在宅医療の充実も必要となる。
- 2) 【公開】「今後の地域医療構想について」
2025年に現在の地域医療構想は終了を迎える。高齢者人口が減少に転ずる2040年頃を視野に入れた地域医療構想を来年度中に国が方向性を決定。それを受けて、県が策定作業を行う予定などの説明があった。
- 3) 【公開】「第8次愛媛県地域保健医療計画について」
第8次計画の期間は令和6年度から令和11年までの6年間。第8次愛媛県地域保健医療計画の策定スケジュールや基準病床数の算定など同計画の概要説明があった。
- 4) 【公開】「医師の働き方改革について」（WEB）
制度医療機関に雇用される勤務医の時間外休日労働時間の上限を原則年間960時間となるなど、働き方改革制度の概要や県が実施した医療機関への支援などについて説明を行った。
- 5) 【非公開】「外来機能報告について」
- 6) 【非公開】「その他（意見交換）」